

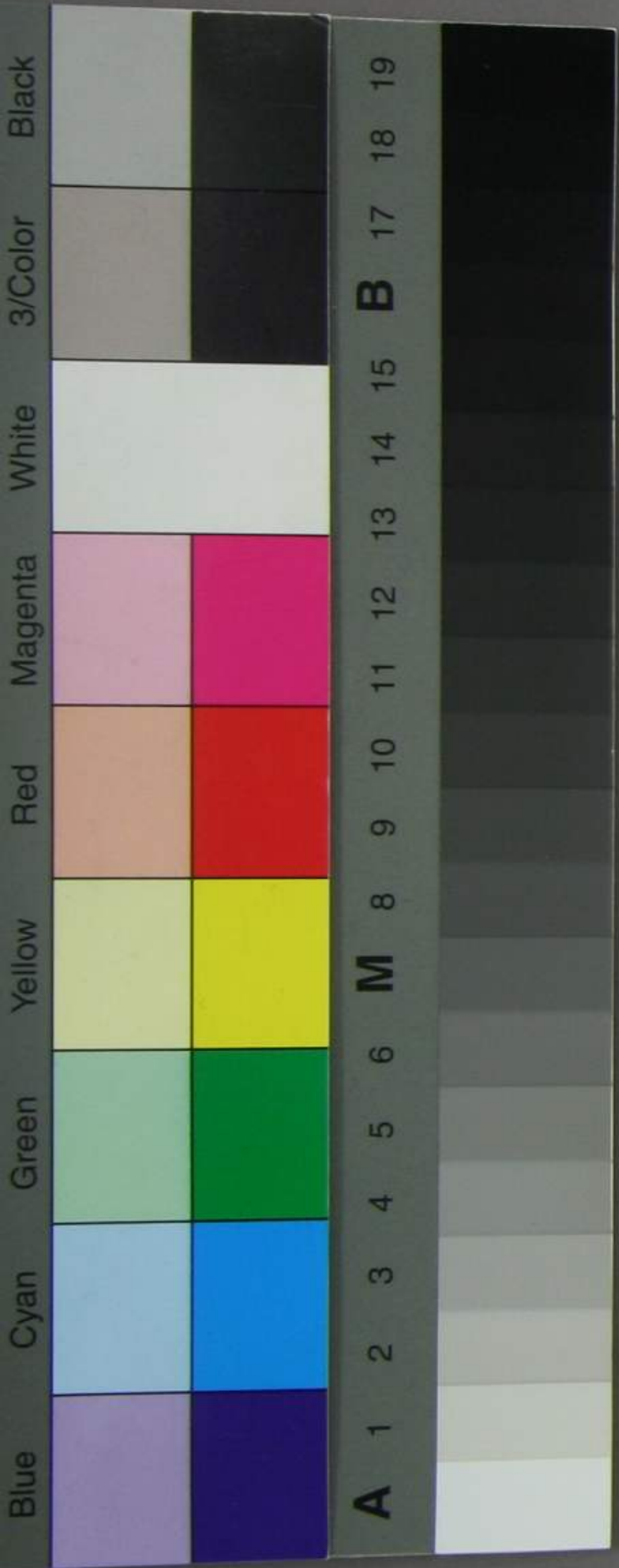
114  
A 4718



近來歐米各國ノ醫論ヲ傳聞ナスニ  
治療日ニ密ニシテ汪藥モ日ニ精チサ  
ルハナレト今哉

皇朝ノ醫術一變シテ各處治療ニ洋  
法ニ轉練ス茲ニ於テ往テ師ヲ莫ニ請  
ヒ去リテ教ヲ傳ヒ受ル輩或ハ偽  
朝ナシテ大國手ニ列スルモノ高門比  
是此ノ時ニ當リテ惜ムラウハ賣藥院ノ欠

大正十一年四月  
隈侯爵邸寄贈



曲アル是也抑藥品元素ノ種類ニ至  
リテハ激劑類々ニ居ル異月モ觸ルヘカラ  
カル昂種アリ如此ニ損散氣品ニ涉ラス  
ト金氏瞬間、能起ラ謂リ微骨ノ推  
量ヲ失スレハ歎忽ニ貴重ヲ損害ナスハ  
言ラ不候從前漢法、如キ草根木皮  
ヲ以テ迂遠ノ治療ヲ施術ナストハ其ノ  
害ヲ醸スモ其効ヲ奏スルモ曾懷ナレタリ

苟モ人生ノ疾苦ニ罹ルモノラレテ保命ラ  
藥石ニ托スルニ至リテ萬々一ニ廣偽、惡  
品ヲ以テ施術ナス時ハ從令其當ラ得ル  
ト雖此之カ爲ニ奏功ニ期シ失ス豈悲  
歎ニ堪ラシヤ歟共

大政府下ニ東校医院、巍然クルアリ  
病院司藥場等モ已ニ備レリト金氏  
又之ニ一層ノ衛生局ヲ設立アリテ市街

某舖ニ賣買スル處ノ品種ヲ時々調  
査ナシテ藥品販扱ノ規則ニ至ル迄告  
諭ナサレテ嗚呼人民保護ノ厚キコト  
至レリト謂フベシ而シテ藥石ヲ輸入ニ求者  
十二八九ニシテ彼ニ品等ノ高卑アリ或ハ海  
外投市ノ廣率ニ出スルモノアリ必竟我  
藥價ノ價ノ卑キヲ本旨トシテ藥品ノ  
精麁ニ関セサルヨリ往々此ノ如キ弊害ヲ

生セリ甚シキニ至リテハ製造所名稱  
内ニ原物ヲ賣ヤル者ヲ互市ニ貿易ナス  
アルモ甚ク聞セリ人命ノ貴重ニ関涉ナ  
ス最モ緊要ノ藥品ニ不注意アル時ハ國  
良醫アリト言フモ砲ヲ鑄テ彈丸ヲ欠ク  
ノ理ナラスヤ因テ賣藥院ヲ建設ナシテ方  
法ヲ簡易ニ與シ検査ヲ品物重ニ盡ストキハ  
此ノ弊害ヲ洗除ナスハ何ノ難ニアラサルヘシ第

一ニ輸入ノ药品ヲ賣病院ノ一手ニ归シ内  
國製薬種モ又此ノ院ノ管轄トナシ一種毎  
ニ分析舎密ヲ遂ケ検印ナシタモノヲ各医  
家各药舗ノ別ナリ賣捌ヲナスモノトシ  
轉賣ナスモノハ又タ其利润ヲ一定ナス是品  
位平均ヲ得テ賈偽ノ患ナク加之官吏檢  
査ノ煩勞モ相省キ實際ノ百端モ相互  
公私両全ノ良法ナルモノトス藥賣ノ私ニ药

品ヲ海外ニ購ズルモ又賣病院ノ検印ナ  
キ品種ヲ賣買スルヲ禁止ナスハ勿論ナリ  
賣病院ニ於テハ薬品ノ利润ヲ受ケス更ニ  
検印税ヲ起スル以テ院中ノ該消費ニ  
充ヘシ創立ノ際ニ於テハ一二ノ外國人備  
求ナラスンハ不能而方法規範ハ之ト俱ニ  
確議ナシ殆ト歐美ノ大伴ヲ謨擬ナスニ  
ヨルヘシ此ノ舉ヲ興スヤ素ヨリ大政府ノ著

予ニヨラサレハ最モ行カタキ處也方今國  
家ノ繁殖ハ人口ノ多寡ニヨルノ源基ヲ  
シテ已ニ種痘廢疾ニ至ルマテ仁意ヲ施  
シ賜ウノ際況ヤ開化ノ域ニ臨テ欠ク  
可カラサルモノ賣葯院ナラスヤ因テ愚衷  
ヲ獻呈ス幸ニ大堂ノ照議ヲ賜ヒ下  
問ヲ辱スルトキハ輸入葯石品目總計  
表一尙歲全國施用ナス品物ノ概美

卑見ノ方法等概畧記載シテ奏進  
ナスヘシ採擇ノ日アルカ如キハ  
ノ亨一福ノミニ止コラス千一億生靈ノ永  
ク恩徳ニ沐浴スルモノナランヤ冒瀆高  
嚴頓首再拜

本街書目

已百堂論病錄五

大觀錄